

## ネイチャーゲームで自然体験！～part2～

7月のコラムでは、『ネイチャーゲームで自然体験！』についてお話ししました。

自然体験の魅力は伝わったでしょうか？

子どもは、様々なものに興味を持ちますが、興味の移ろいも早いものです。

せっかく興味を持ち、これから深めて学びにつながるとしたら…ということも往々にしてあります。

そのため、**子どもの興味・関心を広げる**ことも大人の大切な役割となってきます。

一般的な教育では、「大人が子どもに教える」という図式が主流ですが、ネイチャーゲームでは、「子どもは自然とかかわる中で様々なことを学ぶ」「大人は子どもと自然がかかわれるよう橋渡しをする」という考えを大切にしています。

そのため、大人は【自然案内人】という役割を担っています。

ポイントを理解して子どもにかかわることで、子どもの興味関心はより広がり、自然への理解と学びが深まっていきます。

### 【自然案内人の役割】

- 教えるよりも分かち合おう
- 子ども主体、大人は受け身
- 体験第一！
- 楽しさこそ学ぶ力！



### 【おすすめプログラム】

#### 『ジグソーストーン』

石の様々な形を知る。また、枠に合わせて石の形を組み合わせることを楽しむ

#### 『はっぱちゃんあつまれ』

大きさ、色、形などいろいろな葉っぱがあることを知る。また、大きい順や色のグラデーションで並べるなどして遊ぶ。

今回ご紹介したプログラムはいかがでしたか？

自然とかかわりながら見る・聞く・触る・嗅ぐ・味わうという

動作で五感を通し、子どもは「自分自身と対話」をします。

この対話により、自分の中に体験や感じたことを落とし込みます。ネ

子どもの姿をぜひお楽しみください

子どもだけでなく、大人もたくさんの得るものがあるかもしれませんね・・・♪（中野）

